

衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会 議事概要

<目次>

第1回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会	2
第2回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会	6
第3回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会	14
第4回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会	18
第5回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会	26

- 注1 審査における公平性確保の観点から、入札参加者の実名称は伏せて審査をした。
- 注2 本議事概要では、各委員からの発言は全て委員で表記している。
- 注3 本議事概要では、入札参加者の固有のノウハウに係る部分は省略している。
- 注4 第3回総合評価審査委員会において、提案資料に関するヒアリングを入札参加者に実施したが、入札参加者固有のノウハウが多く含まれるため、ヒアリングの質疑応答は省略している。

衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会（第1回）議事概要

日時：平成31年4月2日（火） 13:00～13:07 / 休憩 / 13:50～14:07

場所：衆議院第一議員会館 地下4階 事務局共用会議室2

1. 開会
2. 委員会設置要綱確認
3. 委員長互選
4. 委員長代理の指名
～休憩（参議院審査委員会終了後再開）～
5. 委員会の進め方
6. 本事業の日程案
7. 事業概要、特定事業選定（VFM等）について
8. 事業者選定基準について
9. 閉会

【配付資料】

- 資料－1 委員名簿
- 資料－2 委員会設置要綱
- 資料－3 本事業の日程案
- 資料－4 事業概要
- 資料－5 特定事業の選定について（案）
- 資料－6 事業者選定基準（案）

1. 開会

- ・事務局 本日、委員長代理の指名までの間、議事を進行させていただく。それでは、第1回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会を開会する。

2. 委員会設置要綱確認

- ・事務局 本委員会の設置要綱の確認をいただきたい。資料－2は事前にお配りしたものと同一内容であるが、異論等がなければ、設置要綱に基づき委員会を進めさせていただきたいが、よろしいか。
(各委員異議なし)

3. 委員長互選

- ・事務局 それでは、設置要綱第3条第2項に基づき、委員長の選出をお願いしたい。この件について、事務局から提案させていただきたい。委員長の選出は、設置要綱第3条第2項の規定により、「委員の互選によりこれを選任する。」となっているが、山内委員に委員長をお願いしたいと考えている。委員の皆様、よろしいか。
(各委員異議なし)

- ・事務局 それでは、委員長は山内委員にお願いしたい。
- ・委員 承知した。

4. 委員長代理の指名

- ・事務局 次に、設置要綱第3条第4項に、「委員長が職務を遂行できない場合には、予めその指名する委員がその職務を代理する。」とされているので、委員長から委員長代理の指名をお願いしたい。
- ・委員 委員長代理は、〇〇委員にお願いしたい。
- ・委員 承知した。
- ・事務局 それでは、〇〇委員に委員長代理をお願いする。議事の進行を委員長をお願いする。
- ・委員 承知した。次の議題に移る前に、一旦、休憩とする。

～ 休憩（参議院審査委員会終了後再開）～

5. 委員会の進め方

- ・委員 それでは、委員会を再開する。事務局から「委員会の進め方」について説明をお願いしたい。
- ・事務局 当審査委員会は、資料－2の「委員会設置要綱」に基づき審査を行っていただく。
まず、審査事項について、設置要綱に、「(1)事業者を選定するための審査基準」とあるが、こちらは、本日の委員会の議題となる。「(2)応募者から提出された応募書類の審査及び評価」については、次回以降の委員会で実施する提案書の審査及び評価となる。
次に議事の公表についてであるが、本委員会の会議は、設置要綱に基づき、非公開となっている。なお、本委員会の議事録は、落札者決定後、現事業と同様に公開するが、発言者が特定されない形での表記とする。また、本委員会の審査結果は、設置要綱に基づき、落札者決定後に公表する。ただし、各委員の評価を特定されるような形での表記はしない。

6. 本事業の日程案

- ・委員 次に「本事業の日程案」について説明をお願いしたい。
- ・事務局 昨年12月21日に実施方針を公表し、特定事業選定の公表の手続きを進めている。
特定事業選定の公表後入札公告を行い、6月頃に一次審査資料の提出を受け、参加資格確認を行う予定である。一次審査で参加資格があると認められた者から、8月に入札書、事業提案書の提出を受け、二次審査を9月に実施する。二次審査において、審査委員に事業提案に関する各項目の評価を審議いただき、評価決定まで3回程度の委員会審議をお願いする。次に、10月頃に開札を実施し、落札者を決定した後、基本協定書の締結を行い、特別目的会社（SPC）の設立後、11月頃を目途に契約を締結する予定である。契約締結後から来年3月31日までの間に、現事業者と次期事業者で業務の引き継ぎを行い、4月から維持管理及び運営業務を開始し、10年間の事業を実施することになる。
以上が、現段階での想定される日程案となるが、準備状況によっては変更する可能性があることに留意していただきたい。

7. 事業概要、特定事業選定（VFM等）について

- ・委員 次に「事業概要」、「特定事業選定（VFM等）」について説明をお願いしたい。
- ・事務局 本事業は、いわゆる「O（Operate）方式」により、PFI事業として衆議院議員会館の維持管理・運営事業を実施する。事業期間は令和2年から令和12年までの10年間となっており、事業者の選定に

については、事業者からの提案内容と価格を総合評価し落札者を決定する「総合評価落札方式」で行う。業務内容は、維持管理業務の建築物点検保守・修繕業務、建築設備運転・監視業務、清掃業務及び運営業務の受付業務、鍵管理業務、什器・備品運用管理業務、駐車場管理業務、会議諸室管理業務、国会健康センター管理業務、全般管理業務、選挙関連事務等支援業務、警備業務、福利厚生業務となる。

事業費の支払いについては、「サービス購入型」により実施し、維持管理・運営費、その他の費用等をPFI事業費として事業者に支払うものとなっている。なお、福利厚生施設の運営業務は、独立採算事業としている。

本事業をPFI事業として実施することの客観的評価については、コスト算出による定量的評価で行う。衆議院が直接事業を実施する場合と、PFIで実施する場合との公共負担額を比較した結果、確認中ではあるが、約8%のVFMが見込まれる。次に、PFI事業として実施することの定性的評価だが、PFI事業として実施すると、民間資金の活用による財政負担の平準化、業務の一括発注による効果、民間事業者のノウハウの活用によるサービスの向上、長期・継続的な事業運営による業務の効率化及び定期的なモニタリング実施による継続的なサービスの質の確保が可能となることが判明した。以上により、本事業は、PFI事業として実施することにより、定量的及び定性的評価に係る効果が発揮されるものと期待できる。また、実施方針公表後の民間事業者からの意見招請の結果からも、十分に実効性があるものと判断し、本事業をPFI法第7条に規定する特定事業として選定することが適当であると認め、今後手続きを踏まえた上で、特定事業の選定を公表する予定である。

- ・委員 予定されているVFMが参議院と大きく異なっているのはなぜか。
- ・事務局 衆議院と参議院を比較すると、事業規模が衆議院の方が大きいので、VFMが異なると考えている。
- ・委員 維持管理業務に関して、衆議院と参議院では金額的にはどの程度違うのか。
- ・事務局 衆議院では、維持管理業務で1年当たり25億円程度必要となっている。

8. 事業者選定基準について

- ・委員 次に「事業者選定基準(案)」について説明をお願いしたい。
- ・事務局 初めに審査手順の概要について説明する。

まず、入札参加希望者が第二次審査に進むための競争参加資格の有無を判断する第一次審査を行う。その後、第一次審査を通過し競争参加資格があると認められた入札参加者が、入札と事業提案の提出を行い、第二次審査へ進むこととなる。第二次審査では、まず必須項目を満たしているかどうか、すなわち業務要求水準書に記載の水準を満たしているかどうかを判断する。これをクリアして初めて、加点項目評価、それから審査結果案の作成へと移り、本委員会の所掌範囲となる。その後、開札を行い、これが予定価格内に収まっているときは、いわゆる除算方式によって評価値を算出した上で、総合評価を行い、最も高い数値を出した者が落札者として決定される。必須項目審査の部分については基礎点として、要求水準書を満たしていれば500点を付与することになる。それから、加点項目審査ということで審査委員会に評価いただく部分を加算点として500点満点、合計で1000点満点の構成となっている。

これらを前提とし、本日の委員会の主なテーマである評価項目、評価基準、配点の説明に移るが、合わせて協議いただきたい点があるので説明する。

まず、評価・採点方法についてである。加点項目ごとに優れた内容かどうか、AからEの5段階評価をお付けいただきたく考えているが、評価ランク、評価指標、評価係数について、お示ししている形でよいかどうか、確認をお願いしたい。また、審査結果案の取りまとめの方法についてであるが、一

且、各委員方におかれては、採点をいただいた後の審査結果案の作成に当たり、合議の形で協議いただき、項目ごとに委員会としてAからEの5段階評価を行っていただくことを考えており、評価ランク等も含め、協議いただきたい。

続けて、加点審査の項目、評価基準、配点についても説明する。各項目を十分考慮した提案がなされることを期待する旨に加え、提案に当たっては、より具体性、実効性のあるものとなるようにと言及し、より良い提案を促している。その上で、審査項目、評価基準等については、全体で4区分、事業計画に関する事項、維持管理に関する事項、運営に関する事項、その他事項という形でくくり、衆議院の場合は計14項目を加点評価項目としている。内容については事前に御説明申し上げており、ここでは個別の評価基準は省略する。また、配点については、500点のうち事業計画に関する事項は100点、維持管理に関する事項は150点、運営に関する事項は130点、その他（モニタリング、災害時・緊急時の対応、引継ぎ等）が120点という形で設定するとともに、個別項目ごとの配点も、重要視する項目について比較的高く設定をしている。評価基準、配点についても、これによろしいか協議いただきたい。

- ・委員 5段階評価とする点、また、審査結果の取りまとめの方法について合議とする点については、問題ないか。

（各委員異議なし）

9. 閉会

- ・委員 これにて本日の審査委員会を終了する。

以上

衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会（第2回）議事概要

日時：令和元年10月18日（金） 13:00～14:20

場所：参議院第二別館 東棟6階 研修室1

1. 開会
2. 評価（入札参加者への確認事項等の抽出を含む）
3. 今後の予定
4. 閉会

【配付資料】

- 資料－1 事業者選定基準
- 資料－2 事業者選定に係る評価要綱
- 資料－3 委員評価比較表
- 資料－4 評価補助資料

1. 開会

- ・委員 ただいまから、第2回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会を開会する。
本日は、9月12日に事業者から提出のあった「事業者提案」について、評価方法の確認を行った後、委員間で審議を行っていただきたいと考えている。審議に先立ち、事務局から説明をお願いする。
- ・事務局 各委員から事前に頂いた評価とコメントについては資料－3の委員評価比較表にあるので参照していただきたい。また、先日事務局から送付した資料－4の評価補助資料も用意させていただいた。
本日は評価及び評価ポイントに加え、来週25日の委員会で行う入札参加者ヒアリングの際の確認事項、質問事項等についても、審議のうえ抽出していただきたい。なお、本日欠席の〇〇委員からは、本日の審議について〇〇委員に一任する旨を事前に伺っていることを報告する。
- ・委員 今説明いただいたように、今日やることは、まず資料－3の委員評価比較表を見ていただいて、評価とコメント及びヒアリング等を行う質問事項を確認するということである。まず1個については、皆さんに評価していただいたが、これから委員会として評価をするということなので、それをまとめる。それからもう一つは、入札参加者への質問事項、これをまとめる。具体的に、一項目ずつやっていきたいと思う。資料－3を見ていただくと、最初に、「事業実施方針」というのがあって、これが一つの項目ということになるので、これを見て。それで、これが終わったら次の「リスクへの対応」、これを見て、そういうことにしたいと思う。

2. 評価（入札参加者への確認事項等の抽出を含む）

- ・委員 それでは早速だが、「事業実施方針」からお手元の資料で審議をしたいと思う。意見があれば伺いたいと思うがいかがか。私は大体提案書を通していろいろ提案されていると感じている。その点については、比較的合格点にあるということでB評価としている。皆さん、いかがか。

- ・委員 指揮命令系統が明記されている点は評価できるので、B評価でも良いと思う。
- ・委員 承知した。提案内容を全体的に見回すと、B評価が妥当ではないかと思うが、よろしいか。それでは、異議がないようなので、B評価とする。入札参加者への確認すべき事項というのが、何か皆さんお気づきの点あるか。
- ・委員 この提案内容では、代表企業自体が直接関わるのは植栽の部分でしか関わっていないように思えるので、そうした現場に携わらない形でも十分マネジメントできるかを確認したい。
- ・委員 それを、ヒアリング時に確認したい。
- ・事務局 承知した。特にB評価と評価するに当たって、提案内容で評価できる部分について教示いただきたい。
- ・委員 何かあるか。
- ・委員 本提案内容は、一般的な内容である。あえて言うのであれば、指揮命令系統が明確である点ではないか。
- ・事務局 表現等については、最終的な調整があると思うが、今の議論からすると、指揮命令系統が明確であるというところが大きなポイントになっているかと思う。
- ・委員 では「リスクへの対応」に関する評価を実施する。
- ・委員 財務的なリスクへの対応については、多く記載されているが、停電やテロなどの緊急時のリスクについては記載されていなかった。
- ・事務局 業務上のリスクのことか。
- ・委員 業務ではなく、災害等の緊急時の初動体制に関して記載してほしい。
- ・事務局 不測の事態が起こったときの対応ということか。
- ・委員 リスクというのは、不測の事態も含めて考えてほしいということである。
- ・委員 大きいリスクとしては、断水が挙げられる。議員会館は高層なので、災害時の断水による影響は大きい。停電や断水のような緊急時のリスクについても記載してほしい。
- ・委員 停電は千葉で起きているし、議員会館でも起きないとは限らない。
- ・委員 財務以外の通常のリスクについて、どういうふうを考えているのかと入札参加者に質問しないといけない。
- ・委員 そうだ。
- ・委員 よろしいか。そのほかに何か意見はあるか。
- ・委員 リスクコンサルタントの参画について、評価をしておりB評価ということにしている。
- ・事務局 第三者によるリスクコンサルタントを評価しているということであるか。
- ・委員 各委員の意見に鑑みて、B評価とする。次は、「財務計画／財務安定性への確保」である。
- ・委員 私は分からないので、取りあえずB評価とした。
- ・委員 私は、特段評価すべき点がないのでE評価でもよいと思ったが、C評価とした。財務に詳しい〇〇委員はいかがか。
- ・委員 リザーブの資金については、妥当であると考えている。また、最低限の内容は提案されていると思いいC評価とした。
- ・委員 私は予備費が〇〇万円という薄さで大丈夫であるかという疑問がある。
- ・委員 その点については、入札参加者に確認する必要がある。
- ・事務局 予備費の〇〇万円です十分であるということに関して説明していただこう。

- ・委員 特に順序からすれば責任費用は節約するかもしれないが、実質慣れている従業員を抱えているのは中小企業かもしれないので、これに関しては滞ったから支払いを繰り延べるとするのは下請け業者からするときついと考えられる。
- ・委員 予備費の〇〇万円で様々なリスクに対応することは可能なのか。
- ・事務局 SPCにリスクが残っている中で〇〇万円という費用が十分かどうかについて、事業者から改めて確認したいという、そういうような質問にしたいという理解か。
- ・委員 実際の相場観がわからないので、足りることについて確認しておきたい。
- ・事務局 承知した。
- ・委員 では、各委員の意見に鑑みてC評価とする。
- ・事務局 この項目の評価について、評価事項とかは何かあるか。評価した事項を明記しておきたい。
- ・委員 基本的に内部資金としており、全体的なコストダウンと柔軟性があるという点が評価できる。
- ・事務局 承知した。
- ・委員 次は「労働環境等への配慮」ということである。
- ・委員 記載されているので、評価した。
- ・委員 各委員の評価は、C評価とE評価のどちらかである。恐らく各委員は考えている評価基準の違いであると思っている。各委員の評価を見ると提案内容は一般的な内容であるということであると思う。
- ・委員 おっしゃるとおりである。
- ・委員 個人的には、提案内容は一般的な内容であり、親会社が所持している資格等を記載しているだけなのかなと思う。基準は達しているのだろうが、特筆すべき点がないという判断で、E評価とした。
- ・事務局 評価については、参画企業はくるみん認定等に関して対応しているけれども、本提案内容は特筆すべき提案内容ではないという評価でよいか。
- ・委員 各委員の意見に鑑みると、E評価とする。「環境負荷の低減」についての評価であるが、この項目も他の項目と大体同じ傾向だと思う。
- ・委員 私は、ごみを有効活用するという点を評価して、B評価とした。
- ・委員 維持管理項目なので、提案内容及び評価作業が難しいと感じている。
- ・委員 生ごみの循環というのは、様々なところで実施されている。この活動が広がると良いと思っている。
- ・委員 私もいいと思う。
- ・委員 私も〇〇委員の意見を伺い、評価できるのではないかと思う。一方で、省エネルギーに関する提案では、次期事業における熱意や誠意が見られなかった。
- ・委員 省エネルギーが積極的でないのは、機器によって決まってしまうからであると思う。
- ・委員 承知した。
- ・委員 提案内容から見るに、これ以上はできないと言っているようにも伺える。
- ・委員 だから、本提案書では新しい提案がないのだろう。
- ・委員 提案内容に記載してしまうと実施しなければいけなくなるので、記載しなかったのではないか。
- ・委員 〇〇委員がおっしゃっていた生ごみの循環の処理については、評価できると思う。
- ・委員 各委員の意見に鑑みて、生ごみの循環について評価をするということでC評価とする。
- ・事務局 生ごみの有効活用以外の具体的な提案とか方法はないのかということが確認事項。評価事項としては、今のその生ごみの有効活用、こちらを評価事項ということによろしいか。

- ・委員 問題ない。次は維持管理に関する事項と。「建築物点検保守業務及び建築設備運転・監視業務」についてはいかがか。
- ・委員 提案内容が具体的であるので、A評価としている。
- ・委員 提案内容自体は、標準的である。しかしながら、これ以上の提案を記載することは不可能であると思ひA評価とした。
- ・委員 本日は、1名の委員が欠席されているので、全体を見るとB評価であるので、B評価としておくことはいかがか。
- ・委員 異議なし。
- ・委員 では、評価は、B評価とする。確認すべき点はあるか。
- ・委員 昨今の人手不足が懸念されており、本件については問題ないことは確認しておいた方が良くと思う。
- ・事務局 人手不足への対応についてどのように考えているか。
- ・委員 長期契約となるので、技術の進歩に合わせてITを活用した運営をしていただくことが本来はいいと思う。人海戦術だけでは困難となると想定される。
- ・委員 発注仕様書を正確に理解してもらうためにも、衆議院と事業者間で業務遂行の仕方を話し合う機会があれば良いと思う。
- ・事務局 そういった意味では、今のお話をまとめると、熟練者を配置すると書いているが、長期間にわたる中でその人の経験とか、ノウハウをどうやって引き継いでいくのか。その引き継ぎ方において、そういうさっきのITの活用とか何か工夫があるのかどうか、そういったところが一つ確認事項として挙げられると思う。
- ・委員 10年間の事業期間中も保つことが可能かという点も重要である。
- ・事務局 熟練の人がずっと10年いるとは限らないからというところで、分かった。あと評価事項としては、幾つかいろいろな提案されていて、個々の提案の具体性が高くて、そういう意味では実現に対して信頼できるということが評価できるというような、そういうニュアンスで受け止めた。
- ・委員 そういうことでよろしいか。次は「修繕業務」の評価に移る。
- ・委員 私は、選挙後の模様替えについて、事業期間中に予測不可能な中で提案されている点は評価できると思ひA評価としている。
- ・委員 ○○委員はいかがか。
- ・委員 修繕業務を実施することは当たり前であり、積極的な提案をしていただきたく厳しい評価をした。
- ・委員 ○○委員はいかがか。
- ・委員 私も具体的な提案内容が記載されているというイメージである。しかし、提案内容自体は、一般的な提案内容だと思う。
- ・委員 各委員の意見に鑑みて、A評価とするのはいかがか。
- ・委員 異議なし。
- ・委員 では、A評価とする。
- ・事務局 評価の内容としては、指摘があったように、衆議院解散時の入れ替えの対応については、リスクも抱えていながら実施することが明記されている、そのような感じになるということではよろしいか。
- ・委員 ヒアリングで念を押しただけの方がいいかもしれない。
- ・委員 確認事項にする。
- ・委員 選挙回数に起因するだろう。

- ・委員 回数もあるし、入れ替えが必要となる部屋がどのくらいあるかにもよる。
- ・事務局 選挙の結果、与野党逆転となると修繕が必要となる部屋は多くなる。
- ・委員 次の項目は「清掃業務」である。
- ・委員 掃除ロボットに関しては、採用すると言っているのは評価できるが、やはりロボット任せにはできないという意見を聞く。ロボットを見守る人が必要となるので、結果的には効率がよくないという意見もあるだろう。また、建物がロボットを活用できるようになっていないということで導入が困難であるという意見もある。本提案内容でロボットを記載されているので、本当にできるのかという点を確認しなければいけない。
- ・委員 ソフトバンクが掃除ロボットを開発しているが、使用する場所について制限がある。一方で、掃除ロボットを活用していることを議員が見ると、日本全体で掃除ロボットの進歩に繋がるのでいいことであると思ったので最高評価にした。
- ・委員 デモンストレーションを実施してもらってもいいと思う。
- ・委員 良いと思われる。確かに、ロボットの後ろに常に人がいるという光景があるかもしれない。
- ・事務局 議員会館という特殊性のある建物での導入は可能かということを質問事項とされるか。
- ・委員 良いと思う。どのように実施するのかを聞きたい。
- ・事務局 効果的な活用をどう考えているのか。ただ使うだけじゃなくて、どこでどういうふうに使えば、どう効果的だと考えているかを確認する。
- ・委員 事業者が投資する気持ちがあるのであれば、10年間でロボットだけでなく、AIを活用することも想定される。そういう意味でも、次世代の管理パフォーマンスを上げるためにも今回の掃除ロボットの導入は評価できる。
- ・委員 本当に活用できるのであれば導入してほしい。
- ・委員 だからこそ、ディスカレッジはしたくない。
- ・委員 将来を見据えた導入ということで、様々な課題があるということをヒアリング時に伝えておきたい。
- ・事務局 ロボット掃除機を使うという、新しい取り組みをすることなどは評価できるという項目に入るということでよろしいか。
- ・委員 入札参加者がどこまで本気で検討しているのかを確認したいということである。
- ・事務局 承知した。
- ・委員 各委員の意見に鑑みて、B評価とする。
- ・事務局 では、こちらもそのロボット掃除機のような新しい提案自体も個別に、〇〇委員も記載されている通り、具体的で細かく提案がなされているところが、評価ポイントだというふうに書いてよろしいか。
- ・委員 問題ない。「運營業務（警備業務を除く）」であるが、これについて皆さん、意見はいかがか。
- ・委員 記載内容が抽象的な内容なので、厳しい評価としている。提案内容だけを見ると、目配りはできているとは思いますが記載内容が曖昧であると感じている。
- ・委員 〇〇委員は、いかがか。
- ・委員 常識的な部分は、提案されていると評価されており、これ以上の提案内容は望めないということで、最高評価とした。
- ・委員 アンケートに関する当グループの方針というところが、かえって利用者のストレス増加につながる可能性があるという、やるのかやらないのかよく分からない。やるとして、どういうのをやるの

かよく分からない。何か書いてあるようであり、書いていないような箇所がやはり散見されている。よって、C評価にしている。

- ・委員 明確に記載されていない点については、確認する必要があると思う。
- ・事務局 ○○委員がおっしゃったアンケートの部分について入札参加者に聞くか。
- ・委員 良いと思う。
- ・委員 本来は、潜在的な問題を発掘して改善しなければいけないのだと思う。
- ・委員 入札参加者の本業務における気持ちの部分を確認しておきたい。
- ・事務局 議員会館の現状については、よく理解して細かな提案をされているけど、何かそれ以上の改善とかプラスアルファの提案はされていないという印象か。
- ・委員 その通りである。
- ・委員 各委員の意見を鑑みるに、C評価ということでいかがか。次に「議員・立法活動におけるセキュリティの確保（警備業務）」についてはいかがか。
- ・委員 有資格者を揃えるために、JVに警備会社を加えているのだが、不測の事態に陥った際に指示系統が明確化されてなく、新たな問題が生じるのではないかという点が心配である。
- ・委員 命令系統の明確化は大事なことである。現事業において警備会社、何社か入っているのか。
- ・事務局 警備会社としては2社が参画しており、人的警備と機械警備の2つで会社が分かれている。
- ・委員 命令系統については、確認しておきたい。
- ・委員 緊急時に臨機応変に各担当企業等が連携できるのかを確認しておきたい。
- ・事務局 別の会社が参画することで、不測の事態が生じた際に、どのように適切に対応するか、その点を伺いたいという、その辺を質問事項に入れさせていただく。
- ・委員 先ほど、評価したリスクの対応と連動している。
- ・委員 各委員の意見を鑑みるに、C評価が妥当だと思う。
- ・委員 提案書内で位置図にて提案されているが、提案内容が良くわからない。各警備員の配置が明確化されているが、どのような作業を想定されているのかを確認しておきたい。
- ・委員 十分な人員の配置ということを記載されているが、提案されている人員配置が過剰になるのではないかという点も確認しておきたい。
- ・委員 それとの関連でITとか警備ロボットを積極的に検討すると書かれているので、またそれと組み合わせる方針を確認することが良いのではないか。
- ・委員 全体的にどう考えているのかということが確認事項となる。
- ・事務局 そこは質問事項にするか。
- ・委員 機械と人との関係をどうしていくのかと。
- ・事務局 機械警備と人的警備の関係それから新技術の活用ということか。
- ・委員 方針を確認しておいた方がいいと思う。
- ・事務局 現状を踏まえた適切な人員配置についてどのように考えているのかを確認する。
- ・委員 警備方式を現事業と変更する場合には、衆議院に相談して承認を得てというプロセスが入るという理解で良いか。
- ・事務局 その通りである。
- ・委員 分かった。
- ・委員 「福利厚生業務」については、いかがか。
- ・委員 提案内容が一般的な内容ということで、E評価とした。

- ・委員 ○○委員はいかがか。
- ・委員 個人事業主に配慮している点は、評価できると思う。また、試食を実施する等も評価できると思う。セルフサービスについては、質問したい点として、提案内容がよく分からないので提案趣旨を確認したい。セルフサービス方式を提案されているが、評価できるのかが不明である。
- ・事務局 福利厚生事業は、採算が結構取れていない。事業者のほうからも、いろいろ提案いただいて採算が取れるようにするべきであるという動きがある一方で、利用されるユーザーの先生方が、会食等をする中で、全てセルフに切り替えてしまった場合に、重要なお客さまとの会食ができなくなるということで、セルフサービスの提案についてはペンディングで要請していて、要求水準の中でも、フルサービスを基本とするけれども、事業期間中における部分的なセルフサービス方式等の導入について検討するという取扱いになっているので、事業者のほうもストレートに言いにくいかもしれない。
- ・委員 厨房設備は、10年以上経過しているので、計画的に入替えしなければいけないのではないか。
- ・事務局 そうだ。
- ・委員 業者のほうで決めるわけにはいかない。
- ・事務局 そうだ。厨房設備については衆議院の費用負担となるので、なかなかその業者のほうに強く言えない。
- ・委員 むしろ衆議院の方で、方針を出していかないといけない。
- ・事務局 そうだ。
- ・委員 なるほど。○○委員はいかがか。
- ・委員 特に積極的に評価する点でもないし、マイナスの点でもないし、あまり関係ないのかなと思う。
- ・事務局 要求水準に基づいて、対応が必要であれば対応するというぐらいの感じである。
- ・委員 承知した。
- ・委員 評価が難しい。
- ・委員 C評価として良いのではないか。
- ・委員 各委員の意見を鑑みるに、C評価とする。
- ・事務局 個人事業主への配慮など議員会館の特性に配慮している点があるという面は、一定の評価ができるという感じだろうか。
- ・委員 結構である。「モニタリング」の項目については、いかがか。
- ・委員 提案内容が一般的なもので、C評価で良いのではないか。
- ・委員 確認すべき事項とかあるか。
- ・事務局 現事業では、適切に実施してくれている。
- ・委員 議員からクレーム等はあるのか。
- ・事務局 事業開始当初は、PFI制度自体が開始当初だったので、業者も我々も理解できないところがあり、先生方に非常にお叱りを受けたことがあった。ただ、そのあとPFI制度の趣旨が定着し、かつ事業者も慣れてくると、そういうことはどんどんなくなってきており、今でも相当数コメントはあるが、昔ほどひどくはない。
- ・委員 その辺の分析を適切に実施することが必要である。
- ・委員 チェックバックの部分が具体的な記載されている点は評価できると思う。
- ・委員 各委員の意見を鑑みるに、C評価とする。

- ・事務局 評価事項としては〇〇委員からも指摘があるように、やはり3段階のモニタリングや相互のモニタリングにより、チェックバック、的確なモニタリング体制が敷かれている。ただ、おっしゃるとおり、それほど一般に比べると、ものすごく優れているということではなからうというのでC評価というようなことになっているということでもよろしいか。
- ・委員 承知した。次は「災害時・緊急時の対応」についていかがか。
- ・委員 これも、全体的には問題ないかと思うが、気になるのは、このレベル3のときに、総括代理人が指揮をすることになっているが、総括代理人は常駐していない。副センター長を超えたときにどういうふうになるのだろうかというのが分からないので、こういうものなのかなと思った。
- ・委員 緊急時の参集要員について、もう少し広く見ないと、病院とかガソリンの供給が止まってもまずいと思う。
- ・委員 来られなかったらまずいと思う。
- ・委員 レベル1、2については順位がついている。第2順位がついているのだが、レベル3で第2順位がどうなっているのかが分からなければ駄目だ。というのと、あと、4なのか5なのか、5なのか6なのかというのが曖昧であるようなときに、どうされるのか。その時点で、どちらだというのが明確に判断をするのかなど、おそらくきちんとしたマニュアルにはきくと書いてあるのだと思う。
- ・委員 このレベル1とか、2とか、3は誰が判断するのか。
- ・事務局 マネジメントシステム的なものでは、明確な基準が定められないときには、その力量がある者が判断するというのが、通常の流れになっているのだが。そこまで、彼らの想定しているシステムの中で、基準があるのか、なければ誰か判断する人が明確になっているか、そういうものについてどう考えているかは聞くことができると思う。さらに参集方法の話も質問事項とするということでもよろしいか。
- ・委員 各委員の意見を鑑みるに、B評価とする。「事業開始時及び事業終了時の引き継ぎ等」の項目の評価はいかがか。
- ・委員 具体的に記載している点については評価してもいいのではないかと思う。
- ・事務局 具体性が高いという点を評価できるということでもよろしいか。
- ・委員 評価すべき点としては、具体的に記載されている点である。
- ・事務局 引き継ぎに関する項目、場面、内容、具体性がとても高い点は評価したいということでもよろしいか。
- ・委員 そうすると、この項目はB評価とする。そういうところで一応、全ての項目について審議して、評点もほぼ決まったが、全体を通じての意見があれば。

3. 今後の予定

- ・事務局 次回の委員会だが、今週25日の金曜日、朝9時集合開会となる。早い時間からの審議となるが、どうぞよろしくお願いする。

4. 閉会

- ・委員 それではこれで議事は全て終了ということなので、第2回審査評価委員会を閉会とさせていただきます。

以上

衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会（第3回）議事概要

日時：令和元年10月25日（金） 9:15～10:55

場所：参議院第二別館 東棟6階 研修室1

1. 開会
2. 入札参加者へのヒアリング
3. 評価
4. 閉会

【配付資料】

資料－1 評価集計表

1. 開会

- ・委員 ただいまから、第3回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会を開催する。
本日の内容だが、本日は「事業者提案」について、まずは、入札参加者にヒアリングを実施する。そしてヒアリング結果を基に、前回の第2回委員会で審議した評価について、また委員間で再度審議を行っていただくということになる。それでは、ヒアリングの審議に先立ち、事務局から説明をお願いしたい。
- ・事務局 ヒアリングにおいては、まず、入札参加者から10～15分程度、説明を聴取する。その後は、お手元に先ほど配付した「確認事項及び回答書」に沿って入札参加者から補足説明をしていただきつつ、委員からの質疑応答させていただきたいと思う。なお、委員からの追加の質疑等に対し、この場での回答が難しい場合は、評価を確定させる次回の委員会までに入札参加者から回答を文書でいただき、委員に周知したいと考えている。ヒアリングの後、ヒアリングの結果を踏まえて、前回の委員会での評価等について、また再審議をお願いしたいと思う。
- ・委員 これからヒアリングを実施するに当たり、時間の管理は事務局で実施していただきたい。
- ・事務局 はい。
- ・委員 ではよろしく願います。よろしければ、委員会につきましては今事務局に説明いただいたとおりにさせていただこうと思う。それでは、議事次第の2番「入札参加者へのヒアリング」これを開始したいと思う。これより「事業者番号1」の事業提案に関するヒアリングを実施する。先立って、まずは、事務局から入札参加者への注意事項等について説明をお願いする。
- ・事務局 ヒアリングについては、全体で1時間程度とする。まずは、入札参加者のほうから、10分～15分程度説明をお願いする。その後、いただいた「確認事項及び回答書」に沿って参加者のほうから補足説明をいただきつつ、質疑応答という形で進めていきたいと思う。また、ヒアリングを行う委員の紹介については、机上の名札をもって代えさせていただく。説明に当たっては、既に提出されている事業提案書以外の提案や追加の提案となるような資料の提示、または発言は認められないので、注意願いたい。なお、説明する際にだが、構成企業等の名称は伏せていただくようお願いする。
- ・委員 よろしいか。それでは、入札参加者から、説明をお願いしたいと思う。よろしく願います。

2. 入札参加者へのヒアリング

※当日は、提案資料に関するヒアリングを入札参加者に実施したが、入札参加者固有のノウハウが多く含まれるため、ヒアリングの質疑応答は省略している。

3. 評価

- ・ 委員 それでは、時間になったので再開をしたいと思う。議事次第の3番目で評価というところである。先ほどヒアリングしたが、そこから前回の委員会ですべての皆さんが話し合って評価をしたわけだが、これを再度審議するということである。内容については、まずは事務局から説明をお願いします。
- ・ 事務局 前回の委員会での評価については、お手元、資料-1 評価集計表を御覧いただきたい。前回の委員会において評価いただいた、各事項の評価を集計表に記載している。表の右側に記載している、評価のポイントについて若干説明する。黒字の部分だが、これは前回委員会で確認いただいた評価のポイントになる。青字の部分だが、これは審査の講評に向けて事務局のほうで清書させていただいた案文になる。赤字だが、これは清書するに当たり、委員の皆様方に確認していただきたいことを記載しているものである。
- ・ 委員 1項目から順番に評価及びコメントを確認していく。基本的には、特に赤い字で書かれているところについて、皆さんに確認をしていただく。
まず、「事業実施方針」については、最終評価Bということで前回同意いただいております、特に事務局からの作業確認はないので、最終評価Bということで良いか。
「リスクへの対応」だが、ここで、先ほども話が出たが、リスクコンサルタントの件が確認事項であったが、評価がBであるので、秀でて優れている点が他に抽出できないか。これだけではなくて、他にないか。
- ・ 事務局 B評価という比較的高い評価をされている中で、具体的に優れているところというコメントがあったのはリスクコンサルタントぐらいだけだったので、他とのバランスを考えたときに、コンサルタント一つでB評価というほどの高い評価をしてよいのかという部分がある。全体的に網羅されているというところもあったが、今日質疑の中でリスクについては随分質疑があったと思うので、そのような点も踏まえて、評価そのものも含めて、再度意見をいただきたいと思う。
- ・ 委員 評価そのものということになると、この集計表を見て、皆さんがどう付けているかということをお聞きするということか。
- ・ 事務局 そうだ。もう既に、一旦委員会としての評価は前回やったが、確認事項が今日はあるということで確認いただいたというふうに思うので、確認の結果、当然評価が上がることもあれば、同じこともあれば、むしろ下がるということもあると思うので、そのような点も含めて議論いただきたいと思う。
- ・ 委員 全体のものだと、皆さんの評価はほとんどBということだ。褒めてあげる点を探すというほうが正解かと思う。
- ・ 委員 本日の入札参加者からの説明を聞いていると心配になったが、B評価で良いのではないかと。ただ、今日の説明を聞いていると、心配になってきた。Bでいいのかなという感じがして。
- ・ 委員 ○○委員の意見を鑑みるに、C評価が妥当でないか。
- ・ 委員 このリスクコンサルタントというのは、財務面のリスクコンサルタントのことか。
- ・ 事務局 勝手なことは言えないが、恐らくはそういうものだというふうに思う。業務のコントロール、今日もお話があった緊急時のコントロールとかということのコンサルというよりはSPCの財務面、要するに保険を付保するにはどういうところがいいのか、保険で付保できないところの財務リスクをどうカバー

- するかとか、そういうコンサルタントなのではないかと思うが、提案書だけでは読み取れない。
- ・委員 提案書の中身はもう財務のことしか書いていないわけだから、恐らくそうだろうという推測はできる。
 - ・事務局 恐らくはそうかなという推測になる。
 - ・委員 だから、その財務の話だけでいいのかというのがちょっと私は当初感じたことではあるが。そこは他でいろいろマニュアルで対応するみたいな回答はあるが、このリスクに対応の意味が、我々が感じているのと、あるいは、衆議院のほうで最初に求めたものとは違っているのかもしれないので、私はよく判断できない。
 - ・委員 この項目が、SPCにとっての事業のリスクに限定した趣旨であれば特にいいと思うが。ただ、衆議院側の視点から見て、この施設をオペレーションしていくについてのもう少し幅広いリスクを見てほしいということであれば、少し不十分だったのではないか。
 - ・委員 災害対応に関しては、マニュアルにしか書いてないだろう。
 - ・事務局 そうだ。
 - ・委員 マニュアルがあるからいいというのは、逃げである。そのマニュアルが適切かどうかという検証しなければいけない。確認するような仕組みがないと判断できない。マニュアルさえ準備しておけばいいみたいなのは失敗の原因だということをよく聞く。入札参加者より訓練していると最後に言ってくれたので、いいのかなとは思う。
 - ・委員 お二方からちょっと疑問で、評価を変えられる意思はあるか。
 - ・委員 いや、私はもともとC評価なので変更はしない。
 - ・委員 私は見直してもいいのではないかと思う。
 - ・委員 ○○委員と○○委員がC評価に仮にしたとして、そうすると、C評価であるというふうに、そういうふうに変更していったほうが形としてはきれい。
 - ・委員 わかった。
 - ・委員 すまない。
 - ・委員 そういうふうにさせていただいて審査委員会としての評価はC評価とさせていただく。
次の維持管理の「建築物点検保守業務及び建築設備運転・監視業務」についてである。これは実際B評価が付いているが、今と同じか。B評価が付いているのだけが見合うのかという話である。
 - ・事務局 そうだ。全般的に今日のディスカッションを踏まえて、評価の見直しがあるかどうかというところが、まずは最優先で確認していただきたいところである。
 - ・委員 なるほど。これいかがか。
 - ・委員 これは変える必要はないような気はする。
 - ・委員 今日ヒアリングでも確認したが、様式15-6で質問している点の人材の件。これはきちんと計画的に人員を育てながら入れ替えるというようなことを回答していただいているので、評価してよいと思う。
 - ・委員 わかった。それでは、B評価とする。続いて「清掃業務」についてである。
 - ・委員 やはりやってみいたいというぐらいのレベルだ。それで実用的じゃないというのはよくわかっているので、なかなか評価が難しい。ただ、10年あるので、その間にもっと技術が進歩するだろうという予測を入れれば、積極的にそういうのをやるというのは評価してもいいのではと思う。
 - ・委員 この評定の代わりじゃないが、ロボットについては、清掃作業については効率化の面で優れているという書き方はできないが、ただ、清掃作業の技術革新を進めようとしている点が評価できる。
 - ・委員 取組み意欲を評価する。
 - ・委員 うん。やってみないと逆に技術は進まないの、そういう意味で実験的にやるのかと聞いたのは、プ

ラスの意味で聞いたが、向こうはちょっとマイナスの意味に取られたようだ。

- ・委員 維持管理会社としては、こういう技術革新をやりたいという部分も理解できる。
- ・委員 それと、よろしいか。清掃業務で他に何か入れなければいけないのだとするならば、他の部門との連携体制が提案されている。具体的に修繕のほうと連携が図られる。これも付け加えてもいいかと思う。
- ・委員 先ほど一元管理みたいな話もプラスだというふうに申し上げたので、ここで反映されているのかなという気はする。あと、最終的な調整のところでもた確認していただければと思う。
- ・委員 では一応そういう形でまとめて。
- ・事務局 その辺ももう少しまとめて。
- ・委員 それからあと、出ているのは三つだけか。ではその他のところで、一つ一つやっている時間がないので。今日特に説明があったのでこれはとか、プラスマイナス両方含めてこれだというところで意見をいただければと思う。
- ・委員 「災害時・緊急時の対応」におけるマニュアルというのは、業者から提案があって作っているのか。それとも衆議院のほうで、ある程度内容を決めて作成されたのか。盛んに言っている、非常時のマニュアルというものの存在は。
- ・事務局 書いてある。ただ、出す前には、我々の実際のこれまでの業務の運営上の問題とか整合性とかもあるので、それは相談しながら一応作って最終的には出していただく。
- ・委員 ではそれが本当に有効かどうかという検証はどこがやるかという話はあると思うが。
- ・事務局 そうだ。それは、やはり業務の遂行を通して、そのマニュアルの記述が業務に実際にそぐわないという場合には、定期的に出してもらっているので、1年にいっぺんとか、2年に1回出していただくときに改訂をしていく。
- ・委員 特にないが、「財務計画／財務安定性への確保」のところでは幾つか質問をしたのでそれを言うと、多分借金しないので、あまり本格的には検討されていないと感じた。
- ・委員 それでは、「財務計画／財務安定性への確保」はC評価とする。
- ・委員 C評価で良いと思う。
- ・委員 先ほども答えてなかった。
- ・委員 そうだ。多分よく理解していないのだと思う。
- ・委員 よくわからないのだろう。
- ・委員 他はないか。では今日のところは、そういうことでリスクの対応のところは修正するというので。事務局から何か。

4. 閉会

- ・事務局 はい、来週 11 月 1 日金曜日に最終的な評価を確定していただいて、審査講評の案についても検討していただきたい。時間と場所だが、本日同様、午前 9 時 15 分からこの場所での審議となるのでよろしく願います。
- ・委員 よろしいか。それでは、ありがとうございます。第 3 回審査委員会を終了させていただく。どうもありがとうございます。

以上

衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会（第4回）議事概要

日時：令和元年11月1日（金） 9：15～9：55

場所：参議院第二別館 東棟6階 研修室1

1. 開会
2. 評価（委員会としての評価の決定）
3. 今後の予定
4. 閉会

【配付資料】

資料－1 評価集計表

資料－2 「民間事業者選定結果」（案）

1. 開会

- ・委員 ただいまから、第4回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会を開会する。
本日は、事業提案書についてこれまでの委員会での審議を踏まえ、委員の間で再度審議を行い、委員会としての最終的な評価を決定する。それでは議事次第の2番目になるが「評価」。前回までの委員会での評価の再度審議をするということになる。これに先立ち、事務局から説明をお願いする。
- ・事務局 前回までの委員会での評価については、資料－1 評価集計表ということでお配りしているので参照いただきたい。評価のポイントの欄に黒字で記載されているものがあるが、それは第2回審査委員会終了時点での文案となる。青字が、事務局において精査したものとなる。赤字が、前回第3回委員会時の議論を踏まえて事務局のほうで修正したものとなる。同じものをスクリーンのほうにも映し出しているので適宜参照していただきたい。
- ・委員 ありがとう。質問であるが、最終評価のA、B、Cの付いているところはCだけ赤になっているが、これは何か意味があるのか。
- ・事務局 それは前回審査でBからCに変わったものである。
- ・委員 承知した。ということで、1項目ずつ確認をして先ほど言ったように評価を決定するというプロセスに入りたいと思う。

2. 評価（委員会としての評価の決定）

- ・委員 それでは早速ではあるが「事業実施方針」というところである。第2回の審査委員会時点での評価事項としては「指揮命令系統が明確で秀でて優れている。施設の特性を理解していることから、信頼できる提案であり秀でて優れている」ということで、事務局に精査していただいて「責任の所在が明確な指示命令系統による業務の遂行や、相互バックアップや、議員会館朝会、専門チーム活動及び階層的な会議体の設置を提案するなど、議員会館の特性を踏まえた実施体制の面で秀でて優れている」こういう評価でBだという、これが表現であるが、これについていかがお考えだろうか。上の2回の黒のところにもいろいろ具体的な言葉を挙げていただいて、それで事務局としては清書ということとすると、何か意見はあるか。特によろしいか、ありがとう。

それでは「リスクへの対応」。これは先ほど言っていたが、最終評価をBからCに変えたのか。

- ・事務局 そうである。
- ・委員 ということで、第2回の評価事項「第三者であるリスクコンサルタントを活用している点で秀でて優れている」ということであった。B評価だったのだが、これに対して事務局の清書が「リスクの把握についてリスクコンサルタントを活用しリスクを網羅的に把握するなど、リスク管理体制の面で優れている」。「秀でて」がなくて「優れている」ということ。これについてはいかがだろうか。「優れている」ということでC評価ということか。
- ・事務局 そうである。文末については、A評価については「特に秀でて優れている」と言って、B評価については「秀でて優れている」、C評価については「優れている」に統一した。
- ・委員 リスクコンサルタントということでB評価だったのだが、いろいろ議論の末にC評価でもいいのではないかと考えたので最終的にはC評価か。ありがとう。
それでは「財務計画／財務安定性への確保」であるが「内部資金調達を中心として財務の柔軟性を確保しており優れている」ということで、これを清書していただいたのが「内部調達であることでキャッシュフローの予期せぬ変動に対する柔軟性を確保するなど、事業の安定性と継続性を確保する適切な財務計画の面で優れている」ということでC評価だったということだが。〇〇委員、いかがだろうか。
- ・委員 C評価でいいと思う。
- ・委員 文章的にも問題ないか。
- ・委員 はい。
- ・委員 〇〇委員もよろしいか。
- ・委員 問題ない。
- ・委員 内部資金調達であることということにして文章を作ろうと思う。よろしいか。
次に「労働環境への配慮」について。「参加各企業ではそれぞれ労働関係についての一定の配慮を行っているが、優れている点は認められない」ということで、E評価でゼロということになる。
- ・委員 皆さんの意見を見ますと、E評価でなくてD評価でいいかなと。もう一度資料を見たのだが、平板かもしれないがいろいろ書いてあるので、Eだとちょっと、書いてないみたいな感じがするので、平均点のD評価でいいのかなと。E評価はちょっときついのかな。
- ・委員 という提案だが、皆さんいかがだろうか。
- ・委員 A、B、C、D、Eをどう理解するかということにかかると思うのだが。
- ・委員 文章をそこだけ変えて前と矛盾がないかと、そういう問題があるが大丈夫か。
- ・委員 やるとしたら「参加各企業ではそれぞれ労働関係についての一定の配慮を行っており、わずかに優れている点を認める」ということになるかもしれない。そのぐらいかなという気はする、評価としては。少しEはかわいそうだという気はする。
- ・委員 それだけだ。確かに皆さんの評価からするとD評価というぐらいはあり得る。
- ・委員 E評価だと少しきついかなと思う。
- ・委員 皆さんよろしければ、この評価についてはD評価と修正させていただいた上で、文章を修正する。
- ・事務局 はい。委員がおっしゃった「参加各企業ではそれぞれ労働関係について一定の配慮を行っており、わずかに優れている点が認められる」。
- ・委員 よろしいか。ここは最終評価Dとして、今のような表現になるということである。
それから「環境負荷の低減」というところで、「生ごみの循環手法、有効活用については優れてい

る」から清書して「地域の環境に優しい生ごみ循環サイクルによるごみの有効活用など、環境負荷低減の面で優れている」となり、評価をC評価とする。

「建築物点検保守業務及び建築設備運転・監視業務」については、B評価で「提案内容が具体的であり、実現性が高く秀でて優れている」を「防災センターにおける一元管理や人材の計画的な育成など、議員会館の特性を踏まえた業務遂行体制の面で秀でて優れている」という表現にしたところであるが、これはいかがだろうか。確かにこの黒字だけだと、B評価になるには具体性に欠けるような表現だった。

・委員 いいと思う。

・委員 よろしいか。それでは、B評価のまま事務局案ということで文章も問題ない。

「修繕業務」については、「修繕業務における水準向上。衆議院解散時におけるリスク対応については具体的で積極的な提案であり、特に秀でている」のでA評価になっている。それを「総選挙対策チームの組成や解散総選挙に関わる具体的な対応と、それらに対する具体的な内容の事例を明確に示していることを含め、独自の感覚を用いた解散総選挙の効率的な業務遂行体制に関わる提案など、議員会館の特性を踏まえた本事業実施の面で特に秀でて優れている」ということでA評価となったが、文章的にはすごく読み辛い文章かと。

・委員 「具体的な」というのが2カ所出てくるのでどちらか省略してもいい。前のほう取ってもいいのではないか。

・委員 「具体的な」という言葉を取って。

・事務局 「総選挙対策チームの組成、解散総選挙に関わる対応」で「具体的な」を取る。

・委員 では、この「具体的な」を取って「内容の事例」と。これについてよろしいか。今の修正「具体的な内容」の「具体的な」を取る。

次に「清掃業務」について。「ロボット掃除機の導入など、新しい具体的な提案が全体的に秀でて優れている」。これは「ロボット掃除機を導入するなど、清掃作業の技術革新の推進について高い意欲が見られた。加えて、サービスセンター・防災センターとの緊密な連携など、効率的な業務実施体制を実施するなど、全体として秀でて優れている」ということになるが、これについていかがだろうか。文章を切ったほうが読みやすいか。

・委員 名詞・名詞で来るとすれば「効率的な業務実施体制の提案など、全体として秀でて優れている」という言い方なのかなと。「提案する」ではなくて。

・委員 「連携や効率的な実施体制の提案」など。

・委員 「緊密な連携や実施体制を提案するなど」だったらいいのか。

・委員 「サービスセンター・防災センターとの緊密な連携」というのが「効率的な業務実施体制」という意味ではないだろうか。

・委員 とすると、文章が難しくなってくる。

・委員 「など」を生かして。

・委員 前の「など」を出す。

・委員 前の「など」を生かして。

・委員 後ろの「実施体制を提案しており、全体として秀でている」と。

・委員 そのほうがいい。

・委員 これ確かそうではないか。別個で効率的な業務実施体制であったわけではなかったか。

・事務局 これ、例として緊密な連携があったと。

- ・委員 おっしゃる通りだ。
- ・委員 「サービスセンター・防災センターとの緊密な連携など、効率的な実施体制を提案し」であるか。
- ・委員 「しており」。
- ・委員 「しており」。 ごめんなさい。「しており、秀でて優れている」ということでよろしいか。
- ・委員 はい。
- ・委員 それではそのように訂正したいと思う。評価はB評価でよろしいか。
次に「運營業務（警備業務を除く）」について。「議員会館の現状を理解して細かな提案がなされている」というところを「ワンストップサービスを実現する業務遂行体制、教育ツールの活用、各種報告書の作成などによる日常的な業務改善など、議員会館の特性を踏まえた運営体制の提案の面で優れている」としているが、いかがだろうか。例がたくさん出てくる割にC評価という感じもするが。
- ・委員 「各種報告書の作成による日常的な業務改善」というのは当たり前なことなので、これは書かなくていいと思う。だから、「教育ツールの活用など」でいいのかな。
- ・事務局 承知した。「など」で。
- ・委員 「教育ツールの活用」から取って、「など」までいくと。
- ・委員 はい。
- ・委員 「など、議員会館の特性を踏まえた運営方法の提案の面で優れている」。そのように修正ということで。評価点はC。
それから「議員・立法活動におけるセキュリティの確保（警備業務）」について。これは「議員会館の現状を踏まえて提案している点が優れている」というのを、もう少し具体的に「業務従事者用の目安箱を設置し、収集した情報を業務マニュアルや手順の改善につなげることや、支援の必要な方に対する受付・サービスセンター及び議員会館課などとの連携など、議員会館の特性を踏まえた警備業務の提案の面で優れている」。これ、いかがだろうか。
- ・委員 結構長いな。前半いらなかなという気がする。
- ・委員 皆さん、よろしいか。それで「方に対する受付・サービスセンター及び議員会館課などとの連携により」とつながる。以下の文章はよろしいか。
- ・委員 ここも「など」、「など」が続いている。
- ・委員 最初の「など」を取る。「サービスセンター及び議員会館課との連携など」。
- ・委員 そうだ。
- ・委員 評価はC評価でよろしいか。
- ・委員 はい。
- ・委員 「福利厚生業務」については、「個人事業主に配慮した提案など、議員会館の特性を踏まえた提案を行っている点は優れていると思われるが、いずれも要求水準に基づいている提案であり積極的に評価すべき点はない」という文章だと、これC評価だと難しいのではないか。それを「会館内で店舗を営業する個人事業主に配慮した提案など、議員会館というマーケット内の特殊性を踏まえた福利厚生業務の提案の面で優れている」と。よろしいか。
- ・委員 議員会館の特殊性を踏まえた、マーケット内、分からない。どうぞ、皆さん。
- ・委員 要するに、部外者が購入できないということだろう。
- ・委員 そういうことか。
- ・事務局 閉鎖的なマーケットという意味で。できるだけ提案の表現とかを生かすような形、優先したという

形。

- ・委員 「議員会館の特殊性」という記載で良いのではないか。
- ・事務局 「マーケットの」は除くか。
- ・委員 「マーケット」はいらぬ。
- ・委員 それで大丈夫だろうか。
それでは「モニタリング」についてである。これは「3段階のモニタリング、相互のモニタリングなど、適切なモニタリング体制が提案されており優れているが、提案としては一般的な提案であると思われる」。これを「3段階のセルフモニタリング及び業務間相互のモニタリングを繰り返し実施するなど、業務改善方策として実効性のある優れたセルフモニタリングの実施の面で優れている」。
- ・委員 文章が重なっている。「セルフモニタリング」が2回出てくるし「優れている」が2回出てくる。
- ・委員 後半の「セルフモニタリング」は入れないと駄目なのか。
- ・委員 「優れている」だけでいいのではないか。
- ・事務局 「優れている」という形で。
- ・委員 それでいいのではないか。「として優れている」。
- ・委員 そのほうがすっきりする。
- ・委員 「実効性のある」から「何とかなの面で」までを取るということで。それでC評価ということによろしいか。
- ・委員 それだと、業務改善方策として優れているだけになってしまって、モニタリングの制度として適切であるというような側面が抜けるような気もするのだが。本来ここではモニタリングがきちんとしているかということ、かつ、それが業務改善にもつながっていて優れているというようなニュアンスだったかなと記憶しているのだが。だから「セルフモニタリングの実施」という言葉も入っていたほうがいいのではないか。
- ・委員 前半に「モニタリングを繰り返し実施する」というように「実施」は入っている。
- ・委員 「など、適切な体制が取られており」だろうか。
- ・委員 要するに、モニタリングがきちんとしているということ、結びをしなければいけないということか。
- ・委員 そこも評価してもいいのではないかとということだが、それは当たり前なので、それが業務改善に結びついている点だけ優れている点としてプラスアルファだということであればそれで問題ないかなと思うのだが。
- ・委員 ただ、おっしゃったのは「業務改善方策として優れている」だけだと、モニタリングよりも業務改善というところにウエートがってしまうという、そういう意味か。
- ・委員 そうだ。ただ、モニタリングしているのは当たり前なのだからということであれば、優れている点だけ書き出しているということなので、それでもいいかなと思う。
- ・事務局 例えば後段を「業務改善方策につながるモニタリングの提案の面で優れている」という書き方はどうか。若干長かったのだが。
- ・委員 業務改善方策、何でしたか。
- ・事務局 「業務改善方策につながるモニタリングの提案の面で優れている」。ただのモニタリングではなくて、業務改善という面までしっかり考えているところが優れているということなので。そういう意味では、モニタリングをきちんと業務改善につなげるという点を提案してきている面が優れているというようなニュアンスになるかと。

- ・委員 例えばだが「業務改善方策としても優れている」という「も」を入れると。
- ・委員 それがいいと思う。
- ・委員 シンプルに「も」を入れるということで。
- ・委員 それで評価Cということでよろしいか。
次に「災害時・緊急時の対応」について。「マニュアルに基づく対応訓練の年7回の実施、大規模災害発生時の対応訓練の年1回の実施あるいは衆議院との合同訓練など、多様な訓練について提案は秀でて優れている」というのを「非常時対応マニュアルに基づく対応訓練の年7回の実施、非常時対応マニュアルの訓練以外での大規模災害発生時の対応訓練の年1回の実施など、計画的な訓練及び従事者の対応能力向上の面で秀でて優れている」。それでB評価なのだが、これはいかがだろうか。
- ・委員 これで結構だが、当初の質問事項の総括代理人が常駐していないところについてはクリアされたという。
- ・委員 質問において。
- ・委員 説明はあったが。
- ・委員 皆さん、どうだろうか。
- ・委員 総括代理人がいなくても、発災時にリーダーがいて組織が動けばいいのだが。そういうふうに判定できたらどうかと思うのだが。常駐にはこだわらないが。
- ・委員 まさにやりとりの中で、我々がそのところを許容できるかどうかということか。
- ・委員 そうだ。
- ・委員 きちんとやってくれればいいと。
- ・委員 それでは基本的にはこの事務局提案の文章で、評価がBということでよろしいか。
続いて、「事業開始時及び事業終了時の引き継ぎ等」である。「項目が詳細に提案されていることについて具体性が高い」を「事業終了3年前の2027年に建築設備診断を開始し、要求水準との適合を調査した上で施設の劣化状況を把握することや、円滑に第三期事業への引き継ぎを行うために、総括代理人・センター長・副センター長が中心となり、引き継ぎプロジェクトチームを本事業期間終了3年前から立ち上げることなど、三期に向けた円滑かつ効率的な引き継ぎの面で秀でて優れている」に。これも具体的に書いて評価のBを与えている、そういうパターン。
- ・委員 B評価だからこのくらい書いてもいいのか。
- ・委員 それでは、文章はこの通りにして評価はB評価ということにすると、文章については確認を後で事務局にさせていただいて、評価が変わったのが「労働環境等への配慮」のところ。これはD評価と。点数が変わって。
- ・事務局 若干上がって322.50点である。
- ・委員 最終評価点は、322.50点である。一応全て見ていただいて審議していただいたので、もし追加的な発言がなければこういう形でまとめさせていただきたい。衆議院への報告の詳細及び審査講評の作成については私のほうに一任させていただきたい。よろしく願います。それでは、議事次第3の今後の予定について事務局から確認をお願いする。

3. 今後の予定

- ・事務局 本日決定いただいた委員会における審査の結果については、各項目の総得点のみを抜き出した上で、後ほど委員長名で衆議院宛てに報告させていただきたい。また、今後の予定としては、11月8日本事

業の開札を予定しており、開札の結果については手続きが完了次第、衆議院のホームページで公表を予定している。それから、これまでに審議いただいた内容をまとめた審査講評及び議事録についても公表の予定である。まず審査講評については、お手元のほうにお配りしている資料-2の「民間事業者選定結果」の一部として公表する。5ページから6ページの「個別講評」については本日の「評価のポイント」を参考に作成し、「総評」については事務局のほうで素案を作成するので、後日各委員に確認いただければと思う。議事録については、本委員会は率直な意見交換ができるようにするため非公開で運営されており、発言者は特定できないという形で作成させていただく予定である。先の事例では、審査講評及び議事録については、落札者の決定から2、3カ月後に公表されているので、順次作業を進め、委員の皆様の確認が取れた時点で順次公表していきたいと考えているので引き続き協力願いたい。

- ・ 委員 何か質問等あれば。
- ・ 委員 特にこれから衆議院が事業者と交渉するときにくぎを刺しておいたほうが良いことがあればここへ書いておいたほうが交渉しやすいのではないかと思う。
- ・ 事務局 おっしゃる通りだと思う。
- ・ 委員 審査講評の評価ポイントは、先ほど固めた文章が表になると。
- ・ 事務局 個別講評のところは、いま掲げた文章になると思う。
- ・ 委員 何かここだけ気になるというところがあれば。
- ・ 事務局 総評のところでこういう点に留意することを望むというような記載をできたらと思う。
- ・ 委員 場合によれば、審査委員会からの要望事項がないこともないのだが。表現の仕方と具体的内容について意見はあるか。なければ、恐縮であるが事務局のほうから何かあれば。
- ・ 委員 それが一番良いと思う。
- ・ 事務局 前回ヒアリングの際にいろいろ確認していただいた中で、先ほど出てきたレベル3のところの災害だとか対応体制とか、そうしたことについてしっかりと対応体制を取ることとか、いくつかこれまで指摘していただいた中で、一つは総括代理人が常駐していないことに伴って生じる不具合というか、マネジメント上の不具合があればそういうことはないように対応してほしいというようなことは可能だと思う。これまでの先生方の議論の中で、一つ大きな意見かなと思う。
- ・ 委員 前も言ったのだが、結局、リスクが財務リスクしか考えていないところが少し気になって。やはり、突発的な事項その他災害における対応体制をきちんと構築していくことが望ましいぐらいの話かなという気はするが。
- ・ 委員 私も、突発的な想定外の事態に対しても事業者として議員会館の業務機能が維持できることについては、個別というよりは全般的に一層の配慮をいただきたいみたいなことを書いたほうが良いかと思うが。
- ・ 委員 何かあるか。そうすると、今出たものについては事務局のほうで内容を作ってください、総評のところ。そんなところでよろしいか、要望事項とかいろいろな。各項目については評価が書いてあるので、全体として気になった点は手続き的には審査講評を皆さんに見ていただくということで、持ち回りに入れとは言わないが、それと準じるようなもので確認していただくと。
- ・ 事務局 今指摘いただいたこと、全て相互に関係しているものばかりだと思うので。リスクの話、常駐の話、業務継続性の話。その辺り意見を勘案して素案を作り、先生方にそれに応じて修文の指摘等をいただければと思う。
- ・ 委員 もうそれ以上書く必要はないのだが、マニュアルなども衆議院と一緒に作っているからなのだが、

非常に微妙なのだが、確かに衆議院が全くブラックボックスであるとしたら任せられないのだが、最終的にはやはり事業者のほうの責任なので、発言の中には、何かあったときにはこのマニュアル通りやって衆議院も署名しているからと言いかねないように取れるようなニュアンスがあったので、それは書かないようにして、そういうような意味でやや使命感を持って自発的に、自分たちが最初にやるのだというところの姿勢が少し弱いような感じがする。

- ・事務局 主体性とかあまり杓子定規な対応をしないとか、表現はあるけれどもニュアンスとしてはそういう趣旨のことであるか。
- ・委員 はい。それが業務継続性で、マニュアルがなくても大本に立ち返って業務継続をするために、マニュアルなくてもあえてやるぐらいの主体性を持っていただければ。
- ・事務局 事業者として、議員会館という重要な施設の管理等を一定請け負うことについての主体的な取り組みをということか。
- ・委員 「主体的な取り組みを期待したい」というような。
- ・事務局 承知した。

4. 閉会

- ・委員 それでは以上で第4回審査委員会を終了させていただく。本当に皆さん、貴重な意見を賜りありがとうございます。議論もいろいろしてきて大変有意義な委員会となり、それについて感謝申し上げたいと思う。どうもありがとうございます。

以上

衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会（第5回）議事概要

日時：令和2年1月10日（金） 14：00～15：00

場所：衆議院第二別館 3階 人事課研修室

1. 開会
2. 評価（委員会としての評価の決定）
3. 今後の予定
4. 閉会

【配付資料】

- 資料－1 事業提案書 修正箇所一覧表
- 資料－2 事業提案書に関する確認事項
- 資料－3 評価集計表（11月1日 第4回審査委員会決定）
- 資料－4 民間事業者選定結果（案）

1. 開会

- ・委員 ただいまから、第5回 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）総合評価審査委員会を開会する。
本日は、事業者から再度提出された提案書について、意見を述べていただきながら、委員間で審議を行い、本日、この場において、委員会として評価を決定したいと考えている。まず、審議に先立ち、事務局から説明をお願いします。
- ・事務局 衆議院議員会館維持管理・運営事業（第二期）は、昨年、当審査委員会での審議を経て、11月8日に開札を行った結果、入札価格が予定価格を上回ったため、再度入札を行うこととなった。
前回提出された提案書との修正部分については、資料－1 事業提案書 修正箇所一覧表に記載してあるとおりだが、各修正内容については、後ほど、各項目の審議の時に説明させていただく。
また、本提案書において修正された内容を踏まえ、提案書に関する確認事項を衆議院から入札参加者に送付し、回答をいただいている。確認事項と回答については、資料－2 事業提案書に関する確認事項及び回答書になるが、こちらの各回答内容についても、後ほど、各項目の審議の時に説明させていただく。
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。それでは、審議に入る。資料－3 評価集計表を見ていただきたい。表の左側には前回委員会で決定した評価及び評価コメントを記載している。右側には再度入札における事業提案書の変更箇所を記載している。この評価集計表を基に今回提出された事業提案書の変更点及び確認事項の回答を踏まえ、再度評価及びコメントを決定したい。

2. 評価（委員会としての評価の決定）

- ・委員 では「事業実施方針」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。

- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。(※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。)
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。
- ・委員 前回と特段変更がないので、B評価で良いのではないか。
- ・各委員 異議なし。

- ・委員 評価は、B評価とする。次に「リスクへの対応」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。(※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。)
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。
- ・委員 事業者より寄せられている回答について、非常時の対応に関しては事前に衆議院と協議し決めておく必要があると思う。
- ・委員 画期的な提案ではないので、ある一定の評価で良いと思う。
- ・委員 リスクコンサルの活用を明記している点は、前回の提案書と変更がないので、C評価が妥当ではないか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、C評価とする。
次に「財務計画／財務安定性への確保」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。(※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。)
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。
- ・委員 予備費の変更については、予備費とサービスの内容には関係がないので、本提案ではあまり評価に影響があるものではないと思う。前回の提案書時の評価と同じC評価で良いのではないか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、C評価とする。
次に「労働環境等への配慮」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。(※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。)
- ・委員 こちらの項目に関する評価は変更なしということで良いか。こちらは、D評価とする。
次に「環境負荷の低減」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。(※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。)
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。

- ・委員 照明器具の変更等は、衆議院が直営で実施するという理解で良いか。
- ・事務局 照明器具の変更等は、大規模修繕という理解であり、当初より衆議院が直営で実施するという理解である。
- ・委員 それでは、評価及びコメントを決定したいと思う。内容的な変更が軽微であるために、前回の提案書時の評価時と同等C評価でいかがか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、C評価とする。
次に「建築物点検保守業務及び建築設備運転・監視業務」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。（※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。）
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。
- ・委員 報告の頻度については、適切な頻度である。
- ・委員 常に衆議院と協議し決めると明記されているので、衆議院にとって不利益になることはない。よって、前回と同じB評価でいかがか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、B評価とする。
次に「修繕業務」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。（※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。）
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。前回の提案書と比較すると提案内容のレベルが下がっていると思う。よって、前回の評価より1つ下げB評価でいかがか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、B評価とする。
次に「清掃業務」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。（※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。）
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。提案書の変更がない点を鑑みるに、前回と同評価であるB評価でいかがか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、B評価とする。
次に「運營業務（警備業務を除く）」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。（※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。）

- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。変更内容が軽微であるために、前回と同評価であるC評価でいかがか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、C評価とする。
次に「議員・立法活動におけるセキュリティの確保（警備業務）」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。（※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。）
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。変更内容が軽微であるために、前回と同評価であるC評価でいかがか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、C評価とする。
次に「福利厚生業務」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。（※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。）
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。
- ・委員 会社名を明記していない部分について、業務に従事する会社が責任をもって実施するという理解で良いか。
- ・事務局 そのとおり。
- ・委員 承知した。責任を持って実施してもらえるのであれば、前回と同評価でいいのではないか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、C評価とする。
次に「モニタリング」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。（※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。）
- ・委員 閉鎖的なマーケットという条件下で現実的な提案をしていると思う。よって、C評価でいかがか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、C評価とする。
次に「災害時・緊急時の対応」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。
- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。（※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。）
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。変更内容が軽微であるために、前回と同評価であるB評価でいかがか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、B評価とする。

次に「事業開始時及び事業終了時の引き継ぎ等」について、修正された事業提案書の内容、確認事項の説明を事務局より願います。

- ・事務局 事務局より再提案書の内容等について説明を実施。（※提案内容等については、入札参加者の利益の保護の観点から非公開とする。）
- ・委員 ただいまの事務局からの説明について質問等あるか。なければ、評価及びコメントを決定したいと思う。変更内容が軽微であるために、前回と同評価であるB評価でいかがか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 評価は、B評価とする。
事業提案の加算点については、307.50点として衆議院に報告してよろしいか。
- ・各委員 異議なし。
- ・委員 それでは、そのようにする。なお、衆議院への報告書の詳細及び審査講評の作成については、委員長に一任していただきたい。次に、議事次第の3「今後の予定」について、事務局から説明をお願いします。

3. 今後の予定

- ・事務局 本日決定いただいた委員会における審査の結果については、各項目の得点と総得点のみを抜き出した上で、委員長名で衆議院宛てに報告いただきたい。
また、今後の予定であるが、1月17日に本事業の再度入札の開札を予定しており、開札結果については、手続きが完了次第、衆議院ホームページにおいて公表を予定している。また、本日審議いただいた内容をまとめた審査講評及び第1回委員会から本日第5回の委員会までの議事録についても、公表の予定である。まず、審査講評については、お手元にお配りしている資料-4「民間事業者選定結果」（案）の一部として公表する。このうち5ページから6ページの「個別講評」を、本日、決定された評価及び評価のポイントを基に作成する。なお、「総評」については、事務局において素案を作成し、後日、各委員に確認いただきたい。次に、議事録については、本委員会は率直な意見交換ができるようにするため、非公開で運営されているので、発言者が特定できないような形で作成させていただく予定である。先の事例では、審査講評及び議事録については、順次作業を進め、委員の皆様の確認がとれた時点で順次公表していきたいと考えており、引き続き、協力のほど、よろしく願います。
- ・委員 「今後の予定」の説明があったが、質問等あるか。それでは、今後の予定については、事務局説明のとおりとする。他に発言等あるか。

（特になし）

4. 閉会

- ・委員 以上で、第5回審査委員会を終了させていただき、委員皆様の貴重な意見等をいただき、大変有意義な委員会となったことを感謝する。どうもありがとう。

以上